

進路希望と志望校の決定
- 受験生としての自覚をもとう -

開倫塾 塾長 林明夫

Q：高校入試までもう数か月となりました。進路や志望校はどのように決定したらよいのでしょうか。

A：大切なことは、高校を卒業してからどのような進路をとるかで高校を決めることです。

Q：塾長はどのように高校を決めたのですか。

A：私は、将来、弁護士か外交官になりたかったので、どうすればなれるかを調べました。弁護士になるためには大学に進学して司法試験、外交官になるためにも大学に進学して外交官試験に合格しなければならないことがわかりました。

そこで、どのような大学に進学すれば司法試験や外交官試験に合格するか、そのような大学に合格するには、どのような高校のどのような科やコースに進学すればよいかを考え、足利高校普通科を志望校として選択しました。

Q：高校の卒業後のことまではあまり考えていないのですが。

A：今はどのような社会なのか、これから世の中がどのようになるのかを新聞を読んで考えること。どのような人生を歩んだらよいのかを本をじっくり読んで考えることです。

自己責任、自助努力で決めて下さい。自分の未来は自分の努力、自分の責任で切り開くこと。義務教育は9年間で終了するのですからね。

学校公開日や運動会・文化祭などの日に実際に行ってみる事です。在學生や卒業生から学校の特徴を聞くことも大切です。

高校に進学して何を学ぶかもはっきりさせて下さいね。

Q：成績が少し足りないのですが...

A：自分は受験生だという自覚をもち、受験生としての生活に徹すれば、合格まで少し足りない成績もカバーできます。

夜は7～8時間しっかり眠り、食事は3食きちんと摂り、あとは勉強。

将来をしっかり見つめ、義務教育9年間の総仕上げと考え、受験勉強に励んで下さいね。